

国道349号の災害復旧が完了します！

まるもり
丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」6.0km
いさざわ かぶとほし
五十沢工区「兜橋～県境」0.3km

令和8年1月31日（土）15時に開通

国土交通省が権限代行事業で進めている国道349号丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」延長6.0km 及び 福島県が事業を進めている国道349号五十沢工区「兜橋～県境」※ 延長0.3kmが、**令和8年1月31日（土）15時に**開通することになりましたので、お知らせします。

また、下記のとおり開通式典を開催します。

なお、「山側への別ルート」の開通により、令和元年東日本台風（台風第19号）で被災した国道349号の災害復旧が完了となります。

※福島県からの受託により、国土交通省で施行

<今回の開通による主な整備効果>

○安全・安心の確保

- ・令和元年東日本台風による冠水範囲や土砂災害危険箇所を回避
- ・幅員狭小や急カーブなどの現道の課題箇所を回避

■開通式典

1. 日時：令和8年1月31日（土）11時00分～
2. 場所：【式典】丸森町町民体育館（丸森町字花田20）
【通り初め】丸森町耕野 地内
3. 主催：宮城県、福島県、丸森町、伊達市、国道349号建設促進期成同盟会、
国土交通省東北地方整備局
4. 次第：挨拶、来賓祝辞、テープカット、くす玉開披、通り初め

- ・開通待ちの路上駐車は、通行の妨げになりますので、ご遠慮願います。
- ・報道関係の方は、別添「取材申込書」による事前申込をお願いします。
- ・お車で越しの報道関係の方は、別添「開通式典会場案内図」を参照ください。

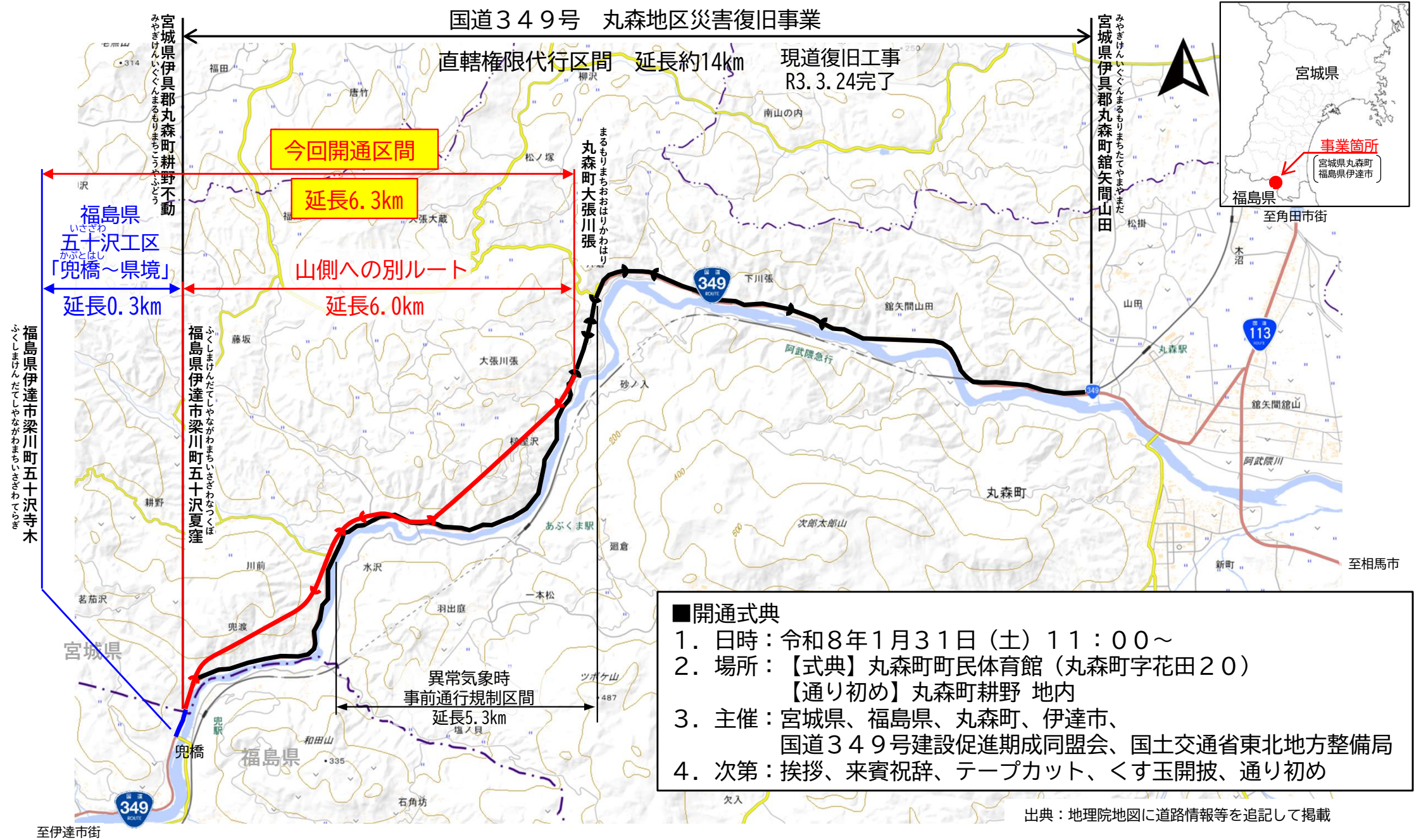
<発表記者会> 宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、仙南記者クラブ、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問い合わせ先】

【開通式及び丸森地区災害復旧事業について】	国土交通省 東北地方整備局 宮城南部復興事務所 副所長 土田 優 電話：0224-51-8290（代表）（内線 205）
【五十沢工区について】	福島県 県北建設事務所 事業部 主幹兼事業部長 加藤 淳 電話：024-521-2542（直通）

国道349号 丸森地区災害復旧事業「山側への別ルート」位置図

国道349号 五十沢工区「兜橋～県境」位置図



— 山側への別ルート — 福島県からの受託により、国土交通省で施行

メールアドレス:thr-miyaginanbu-mi@ki.mlit.go.jp

宮城南部復興事務所 総務課 宛

開通式典 取材申込書

標記について、取材を希望される報道機関は、以下に必要事項を記入の上
メール添付にて送付をお願いします。

メール送付期限:令和8年1月23日(金)17時まで

※開通式典前に内容等の説明をさせていただきますので、10時30分までに式
典会場にお集まりいただきますようお願いいたします。

1. 会社名 _____

2. ご氏名 _____
(代表者のみ)

3. 連絡先 TEL _____

※こちらから連絡させていただく場合があります。

連絡が取れる電話番号をご記入ください。

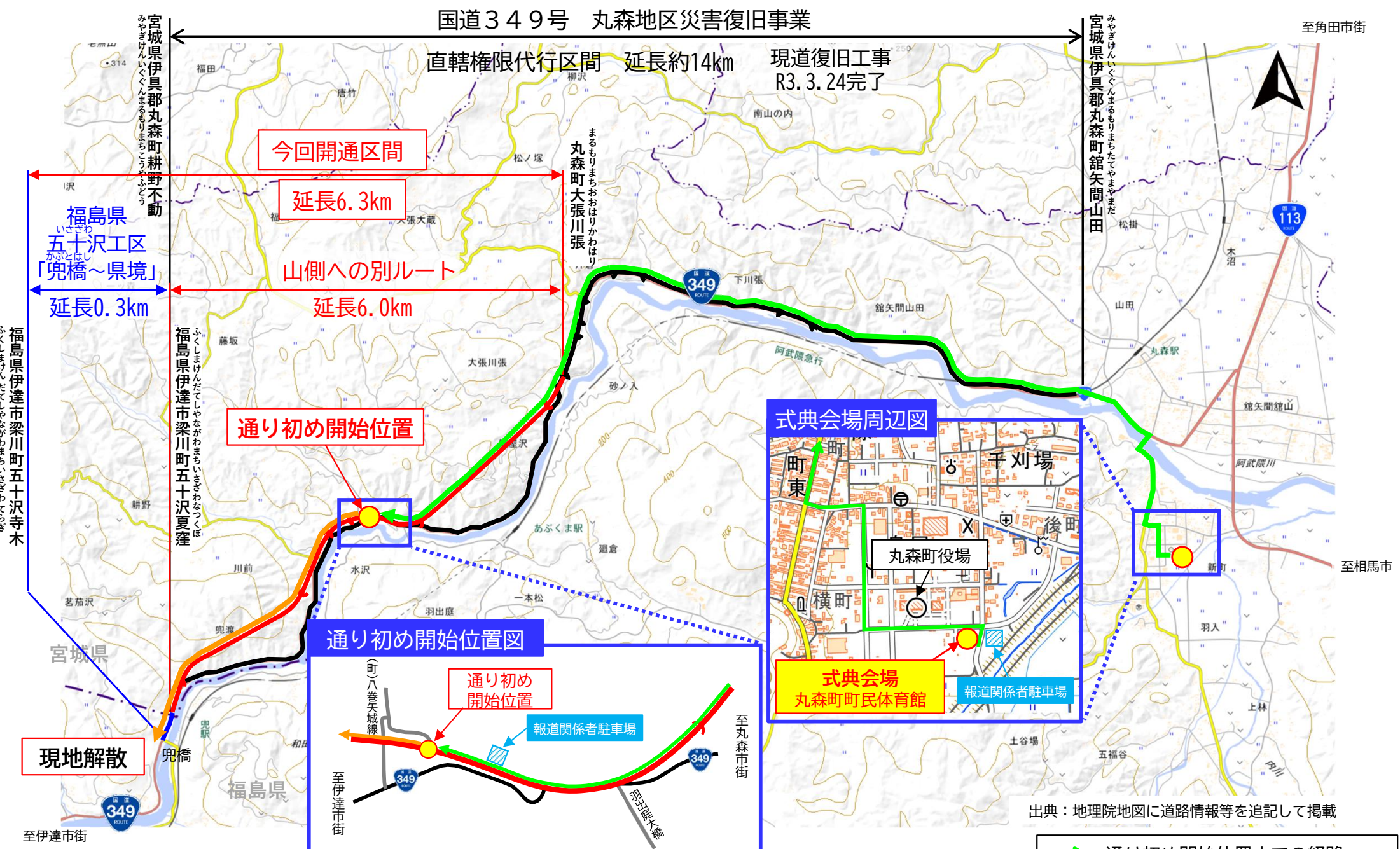
4. 人数 (代表者を含む) _____ 人

5. 駐車台数・場所 式典会場 要 ・ 不 (台)

通り初め会場 要 ・ 不 (台)

国道349号 丸森地区災害復旧事業

直轄権限代行区間 延長約14km 現道復旧工事 R3.3.24完了



今回開通区間

延長6.3km

山側への別ルート

延長6.0km

福島県五十沢工区「兜橋～県境」

延長0.3km

通り初め開始位置

通り初め開始位置図

通り初め開始位置

報道関係者駐車場

式典会場周辺図

式典会場 丸森町町民体育館

報道関係者駐車場

現地解散

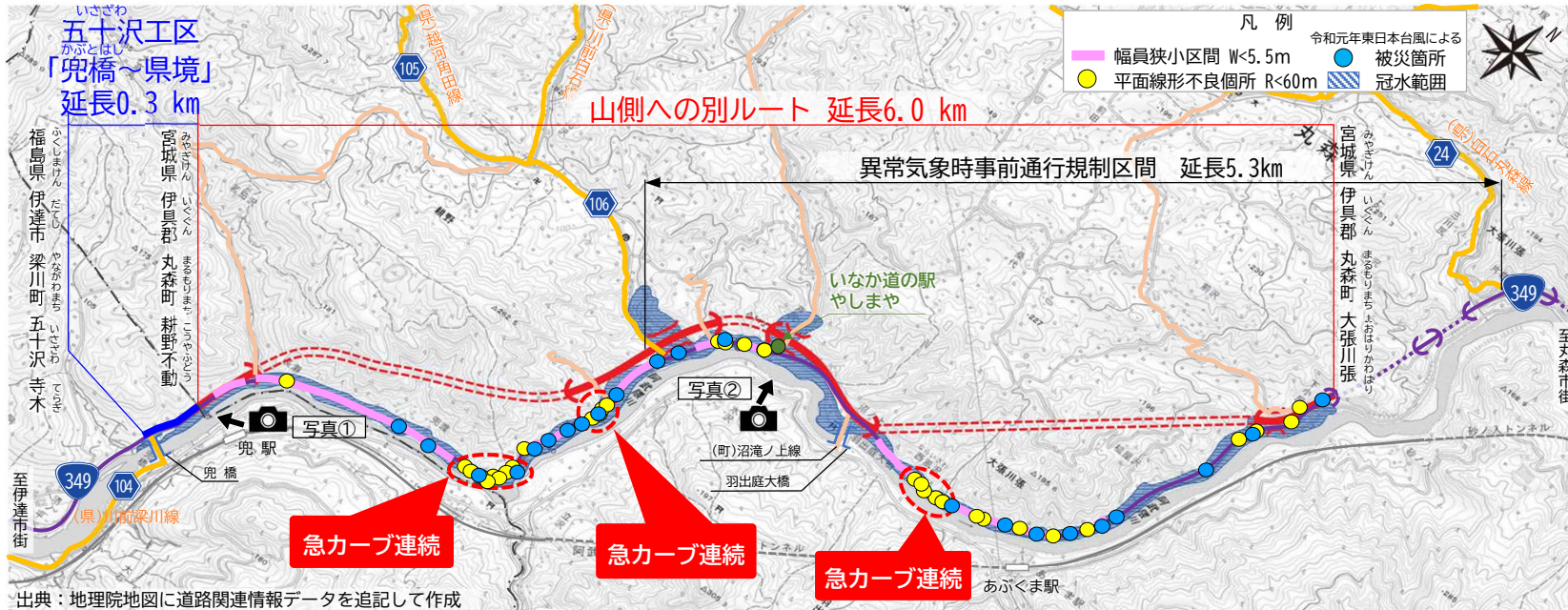
出典：地理院地図に道路情報等を追記して掲載

- 通り初め開始位置までの経路
- 通り初め (パレード)

安全・安心の確保

- 国道349号は、令和元年東日本台風（台風第19号）により丸森町耕野不動～館矢間山田間の約14km区間で山側からの土砂崩落や路肩決壊など29箇所で大被害。
- 丸森町耕野不動～大張川張間の約8kmは、阿武隈川の洪水で区間の約9割が冠水し、被災箇所の約8割が集中するなど特に被災が大きい区間。また、急峻・狭隘な地形のため幅員狭小や線形不良箇所が断続的に続き、交通の安全性など現道の課題が大きい。
- 福島県側の兜橋～県境間も阿武隈川の洪水による冠水被害が発生。
- 「山側への別ルート」、「五十沢工区（兜橋～県境）」の整備により、被災箇所や現道の課題箇所を回避し、再度災害防止による地域の安全・安心を確保。

位置図・国道349号現道部の課題箇所



完成写真



令和元年東日本台風による被災状況写真



国道349号 丸森地区災害復旧事業の経緯

R1.10.12

令和元年東日本台風（台風第19号）発災

- 国道349号の丸森町内では、丸森町耕野不動～丸森町館矢間山田（約14km）で全面通行止め
- 土砂崩落や路肩決壊などの被災（29箇所）

【現道復旧】

R1.10.14
～10.31

直轄権限代行による道路啓開

- 重要物流道路等の管理の特例（道路法第48条の19第1項）に基づき、国道349号の道路啓開を実施
- 道路啓開は重要物流道路制度創設後、全国初の実施



啓開作業の状況



啓開後の状況

【山側への別ルート】

R1.10.28

第1回丸森地区防災対策技術検討会

国道349号の災害復旧の方針を検討

- R1.10.28 第1回 被災状況
- R2.1.23 第2回 被災を踏まえたルート見直し
- R2.2.26 第3回 ルート決定

R1.11.1

直轄権限代行による災害復旧事業に着手

「大規模災害からの復興に関する法律（第46条第1項）」に基づき、直轄権限代行による災害復旧事業に着手

R1.12.6

応急復旧工事完了

- R1.12.13 一般交通開放（事前通行規制区間は暫定基準を適用）



被災状況



一般交通開放状況

R2.1.30

「山側への別ルート」での本復旧公表

丸森町耕野不動～大張川張（約8km）は、特に被災が大きく、現道の課題が大きい
⇒再度災害防止のため「山側への別ルート」での本復旧を決定

R2.2.26

「山側への別ルート」の詳細決定

区間：丸森町耕野不動～大張川張
延長：6.0km
車線数：2車線

R3.3.24

現道復旧工事完了

- 事前通行規制区間の暫定基準解除



被災状況



復旧完了状況

R3.1.28～

用地着手・工事着手

R4.9～

トンネル掘削開始

猿跳岩トンネルの掘削に着手



猿跳岩トンネル掘削状況

R5.3～

五十沢工区「兜橋～県境」を受託

福島県から受託し、県境を跨いで一体的に整備

R6.7

橋梁工事完成

3箇所全ての橋が完成



新川前橋完成状況

R6.11

最後のトンネル貫通

大張ウソコトンネルが貫通し、3本全て貫通



大張ウソコトンネル貫通状況

R8.1.31

開通